

琉球大学学術リポジトリ

[記事](特別講演)新品種植物資源の沖縄での活用

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大野, 辰美 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017223

【特別講演】

新品種植物資源の沖縄での活用

新品種保護開発研究会 事務局長 大野辰美

植物のもつ特性を人間の生活に利用しつづけてきたのであるが、新しい技術体系であるバイオテクノロジーは、飛躍的な利用面を人類に与えてくれそうだと予測されている。その動きをいち早くキャッチし、事業化を熱心に展開しているのは、世界に分布している巨大企業群であるが、わが国の企業も世界の大勢に遅れるなどという合言葉でこれもまたいっせいに動きだした。

この激しい流れは、政府をも動かし、農水省をはじめとして各省庁も漸く行動を開始した。更には農業団体から、各自治体までも波及し、一つの大きな流れをつくりあげようとしている。

新品種保護開発研究会はスタート以来四年を経過したのであるが、その激しい流れの真只今中であつた。その流れの本質を見きだめながら、沖縄での展開について言及したい。

1. 巨大企業が植物分野に踏み込む

- * 種苗会社の買収
- * 研究所の拡充・強化
- * 何を狙っているか

2. わが企業群の動き

- * 企業のとった路線
- * どんなアプローチをするか
 - 研究陣
 - 提携
 - 新技術
 - 産・官・学共同

3. 地方の動き

- * 自治体
- * 一村一品運動の本質

4. 新品種権利保護と特許法

- * 権利を法律的に守る時代の到来
- * 新品種の自由化の時代の方策

5. 沖縄での展開

- * 産業化を推進 官と学のバックアップ
 - 官・学への支援
 - 新品種開発
 - 植物産業の展開
- * 研究者、技術者の養成と訓練
 - もっともっと新しい技術を
- * マーケティングを重視